

カラスの特性

ハシブトカラス

- ・主に都市部で見られる
- ・クチバシは分厚く太い
- ・額は盛り上がっている
- ・目はいいが臭いはわからない
- ・鳴き声は「カーカー」と喉を膨らまして鳴く
- ・両足をそろえてピョンピョン跳ぶ



ハシボソカラス

- ・畑や田んぼ、川原が棲息地
- ・クチバシは細い
- ・額は出ていない
- ・ハシブトカラスより小柄
- ・鳴き声は「ガァーガァー」とお辞儀するように鳴く
- ・両足を交互に出して歩く



カラスはなぜ都市部に？

ハシブトカラスはジャングル出身



なぜ都市の生活に対応できる？



生活ポジションを変えずに適応
(森での暮らしを都会に応用)

スタイル	森林	都会
止まる場所	樹木	街路灯・ビル
巣	樹木	街路樹
獲物	動物の死体	ゴミ

カラスはなぜゴミに？

- ・「食べ物」を得るためゴミをあさる(雑食だけど何を食べるのか?)
→脂質の多いもの(肉類やマヨネーズの付いたもの)が好き
- ・ゴミが散らかる理由は何か?
→①好きなものだけ探すため、②安全な場所に運んで食べるため
- ・食べ物をどう発見する? →①視覚(半透明袋)、②学習能力(経験)

カラス防除の基本(一般的)

- 1 飛来原因を取り去る
 - ・電線や屋根に止まる(安全な止まり場所として学習)→安全にしない
 - ・ベランダにゴミや植木鉢等(隠し場所)を置かない→目的を無くする
- 2 カラスの嫌いなことをする
 - ・普段見慣れないものを置く→観察力が高いため警戒する
 - ・各種刺激を常に変化させる→不規則なものほど効果が高い
- 3 カラスを徹底的に追い払う
 - ・カラスが一番怖いのは人間→巣を狙わない限りは襲われない
 - ・物理的な防除=止まりやすい棒にトゲトゲを設置、テグスを張る
 - ・光による防除=CDやキラキラの防鳥テープ→異常空間と認識する
 - ・音による防除=驚くため効果はあるが慣れてしまう(効果は薄い)
 - ・目玉模様による防除=効果はあるが薄れてしまう
 - ・色による防除=カラスは色がよくわかるが好き嫌いが無い(効果×)

本校のカラス対策[H24]

- ・2~3年前から校地内に巣作り
- ・食べ物のみならず直接襲われる



【事例】リンゴやナシの被害低減に黄色い梱包用PEテープが使われた



[平成24年度]
グラウンドのネットに設置して調査(2段)



5月の設置以降被害なし(見当たらない?)



【効果】PEテープが風で不規則に動く。

その際、音もするので警戒する?

【課題】近づいても安全だと学習されるかも



本校のカラス対策[H25]

[平成24年度の結果から]

- ・カラスは不規則な動きや音を警戒する
→色は関係ない(テープが退色してもOK)
- ・カラスは高い学習能力を持つ
→近づいても安全だと学習されないか?
- ・テープの設置場所の妥当性



[平成25年度]

- ・カラスの特性調査(アンケート含む)
- ・白色の梱包用PEテープで実験
- ・設置場所の検討
- ・他団体との情報交換

アンケート調査

- ・全校生徒を対象にアンケート調査
【第1回】5月中旬、【第2回】7月上旬

【第1回】

- ・居住区におけるカラスの目撃情報
→(朝)ゴミ捨て場、電柱・電線
→(昼)電線・電柱
→(夜)電線・電柱、公園、神社

・カラスの被害

- ゴミの散乱が圧倒的に多い
- テープ設置前(第1回)は直接被害も

・PEテープの効果

- 2・3年生は昨年度の経験から効果あり

弘前CROWプロジェクト H24

□カラス忌避の効果

(H24)
黄色いスズラン
テープが効果有?

黄色はよく見える?

紫外線で退色する

バタつきによる音

不規則な揺れが○

色より音・揺れ

弘前CROWプロジェクト H25

□カラスを知る

【目撃場所】

(H25/5調査)

(昼)

(夜)

(朝)

(夕)

(晩)

(夜)

(朝)

(昼)

(夜)

(朝)

(昼)

(夜)

(朝)

(昼)

(夜)

(朝)

(昼)

(夜)

(朝)

(昼)

(夜)

(朝)

(昼)

(夜)

(朝)

(昼)

(夜)

弘前CROWプロジェクト H25

□カラスを知る

【被害状況】

(H25/5調査)

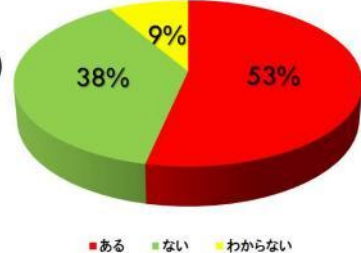


弘前CROWプロジェクト H25

□カラスを知る

【設置効果】

(H25/5調査)



白色PEテープの設置

【テープ設定理由】

- ・カラスは実は黄色が良く見えるらしい
- ・黄色PEテープ→紫外線で退色後も効果あり
- ・風によるバタつき音や不規則な揺れが効果あり



- ・白色PEテープを使用(退色で半透明化)
- ・5月下旬: ネット中段に設置(上段は後で)
- ・テープ設置は1カ所につき1m×2本
- ・7月上旬: 設置効果のアンケート調査



設置結果

- ・設置時期が遅れ、校地内の樹に巣作り
→(昨年)5月中旬、(今年)5月下旬
→巣の場所はネットから少し離れた樹
- ・産卵後および幼鳥時に親鳥が威嚇攻撃
→6月上旬: ネット上段にPEテープ設置
→6月下旬: 親鳥は去る(テープの効果?)
- ・幼鳥は飛べるようになっても去らない
→PEテープは危険なしと学習?
→親鳥が早く去ったためか鳴き方が変?
→テープの効果で他のカラスはいない



- ・PEテープの効果は設置時期で変わる(大人のカラスは特に警戒する)
- ・PEテープ設置は羽を休める場所が有効
- ・テープは退色してもボロボロでも効果あり



弘前CROWプロジェクト H25

4月~7月

【校地内被害】

(H25/7調査)

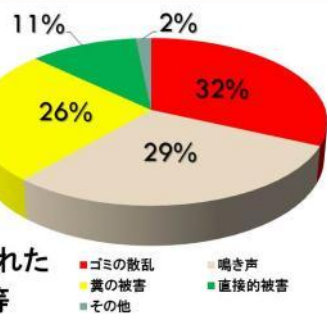
※直接的被害

→4~6月

※その他回答

食べ物を盗られた

にらまれた等



ゴミの散乱

糞の被害

その他

鳴き声

直接的被害

弘前市役所との情報交換

- 期日 平成25年9月26日(木)
場所 本校視聴覚室
参加 弘前市役所環境管理課3名
本校農業クラブ役員10名
- 内容
- ①弘前市の取組み紹介
 - ②本校の取組み紹介
 - ③質疑応答、意見交換
 - ④今後の連携



これまでの本校の取組みを振り返り、地域の取組みと比較するため、同じくカラス対策を行っている弘前市役所と情報交換をしました。

弘前市では、高い建物の屋上などにテグスを張ることで、ふん害をなくすという手法です。また、弘前の居住区には約5,000羽のカラスがいて、ほとんどが弘前公園をねぐらにしているそうです。

本校の取組みも、「ビルと比べると低所の位置での忌避は面白い」「安価で市民が参加しやすい」といった好意的な評価もいただきました。多くの報道機関から取材を受けた生徒たちは、「自分たちの活動がこんなに注目されるとは思わなかった」と自信を深めています。

この研究成果は、11月に青森大学で行われる高校生科学研究コンテストで発表します。

